

ビキニ水爆被災から58年

核兵器のない世界へ、歴史のページを開きましょう

歴史を動かした「原水爆禁止署名」

まもなく58回目の「3・1ビキニデー」を迎えます。1954年3月1日未明、アメリカが中部太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁で行った広島型原爆の1000倍という巨大な水爆実験によって、強い放射能を含んだ「死の灰」はマーシャル島民や周辺海域で操業していた第五福竜丸など日本のマゲロ漁船に降り注ぎ、世界中に広がりました。

一方、ビキニデーは、その被害の大きさだけでなく、人々の行動が歴史を動かした点でも記憶にとどめる日でもあります。広島・長崎に続いて三度核の被害を受けた日本国民は、その日から草の根の行動に立ち上がり、「核実験中止!」「核兵器禁止!」の署名を広げ、当時の有権者の過半数にあたる3200万筆に達し、世界を動かす原水爆禁止運動へと突き進んだ歴史的な日でもあります。

2012年は核兵器のない世界の実現にとって重要な年

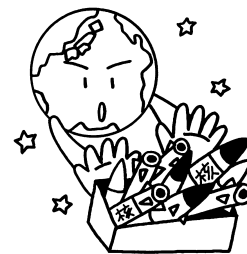
昨年の第66回国連総会では、2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議での前進の上に、核兵器禁止条約への具体的進展を求める声がさらに大きく広がり、3分の2を超える国々が、核兵器(禁止)条約の交渉開始を求める決議を支持しました。

4月30日から、次回NPT再検討会議第1回準備委員会がオーストリア・ウィーンで開催されます。「核兵器のない世界」の合意を行動へ、多くの国の政府が、会議に向けて行動を起こしています。世界各国でも、核軍縮、核兵器の撤去、核・軍事予算の削減など、様々な反核平和のとりくみが強められ、こうした人びとの声と行動が核兵器禁止へと国際政治を動かしています。

あなたの署名と行動を呼びかけます

昨年2月15日に日本原水協が提起した「核兵器全面禁止のアピール」署名。昨年10月には国連に102万筆を届けました。国連本部の総会議場の入口には3メートルの署名のツイントワーが設けられています。北海道のある中学生が長崎に修学旅行に行き、被爆者の話を聞いて、自分たちも何かしたいと515筆の署名を届けてくれたように、全国各地でとりくまれ、その後の3カ月で40万筆をこえる署名が集まっています。

核兵器のない世界へ、歴史のページを開くのは、そのために努力する多くの国の政府の協力と市民社会の草の根の行動、みなさん一人ひとりの行動です。あなたの署名と行動を呼びかけます。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>